

4核管六第011号  
令和4年5月10日

原子力規制委員会 殿

住 所 東京都台東区東上野一丁目28番9号  
氏 名 公益財団法人核物質管理センター  
理事長 下村 和生  
(公印省略)

公益財団法人核物質管理センター六ヶ所保障措置センター  
安全実績指標の報告について（令和3年度）

原子力規制検査等に関する規則第五条に基づき、公益財団法人核物質管理センター六ヶ所保障措置センターの令和3年度における安全実績指標を別紙のとおり報告いたします。

別紙：公益財団法人核物質管理センター六ヶ所保障措置センターにおける放射線安全に係る安全実績指標（P I）について

以上

(別紙)

公益財団法人核物質管理センター六ヶ所保障措置センターにおける  
放射線安全に係る安全実績指標（P I）について

1. 放射性廃棄物の過剰放出件数：0 件

気体／液体 (事業区分)	排気口、排水口等の名称	過剰放出件数 (PI 値)	
		全 $\alpha$	全 $\beta$
気体 (使用)	排気監視設備	全 $\alpha$	0
		全 $\beta$	0
液体 (使用)	保障措置第 1 分析室ヒュームフード(F.H1H、 F.H2H) 下部貯留容器	全 $\alpha$	0
		全 $\beta$	0
	保障措置第 1 分析室実験台下部貯留容器	全 $\alpha$	0
		全 $\beta$	0
	第 3 サブチェンジングループシャワー設備貯留容器	全 $\alpha$	0
		全 $\beta$	0
	保障措置第 2 分析室ヒュームフード(F.H3H、 F.H4H) 下部貯留容器	全 $\alpha$	0
		全 $\beta$	0
	保障措置第 2 分析室実験台下部貯留容器	全 $\alpha$	0
		全 $\beta$	0
	分析機器保管保修室実験台下部貯留容器	全 $\alpha$	0
		全 $\beta$	0
	保障措置第 3 分析室質量分析用グローブボックス貯留 容器	全 $\alpha$	0
		全 $\beta$	0
備考			

(注) PI 値が 1 以上となった場合は、その理由を備考欄に記載する。

2. 被ばく線量が線量限度を超えた件数：0 件

3. 事故故障等の報告基準の実効線量（5mSv）を超えた計画外の被ばく発生件数：0 件